

小林秀雄 ひがしやま ひでお (西洋史家。明治九年十一月二十日青森縣生れ、昭和二十年一月二十六日歿(八六一―九五))。號孤村、淡々生。國學院、立教學校、第一高等學校を經て、明治二十七年東京帝國大學文科大學史學科卒。東北學院を始め、國學院大學、立教大學の教授。昭和十二年立教大學文學部の史學科新設に當り史學科長、翌年史學會が設けられて評議委員長となり、機關誌『史苑』を創刊した。

著書に、『希臘文化史』(昭和七年刊)、『羅馬文化史』(昭和七年七月二十日白東社)、『民族と歴史と教育』(昭和十七年四月二十日小樽館)等。『面影』(小林秀雄先生追悼録)、『昭和二十一年九月五日立教大學文學部史學研究室』がある。

